

### 八月の法座・行事

- 四、五日・暁天講座 (午前六時半)  
大阪教区第十五組  
大長寺住職 沼田 和隆 師  
講題 『本来の私』
  - 十二日・無縁墓追弔会 (午前九時)  
・闍如上人御逮夜・常永代経 (午後二時)  
・墓所墓前申経 (午前九時～午後五時まで)
  - 十三日・証如上人御祥月御命日  
・闍如上人御命日 (午前八時)  
・孟蘭盆会法要 (午後一時半)  
大阪教区第十三組  
道徳寺前住職 入江 健明 師  
・墓所墓前申経 (午前九時～午後五時まで)
  - 二十一日・報恩講習礼 (午後六時～午後八時)
  - 二十七日・宗祖聖人御逮夜 (午後二時)
  - 二十八日・宗祖聖人御命日 (午前八時)
- ※今月の同朋の会例会、正信偈書写の会、定例法話はお休みとさせていただきます。

### ◆お詫びと訂正

七月号の「夏の御文法要勤修」で平原 晃宗 師の寺院名に誤りがありましたのでお詫びし訂正いたします。

**誤** 京都教区山城第五組 正連寺

**正** 京都教区山城第五組 正蓮寺

### 金剛心は菩提心

この心すなわち

他力なり

(法語カレンダーより)

### 編集後記

天満別院の生い茂つてきた草木たちは、先月半ばに庭師の方々によって剪定され、すっきり綺麗になりました。

天満別院では今月より、いよいよホームページが開設しました。職員一同、ホームページの管理・運営等、精一杯頑張つてまいりますので、是非ご覧くださいませ。

堀河

霊園・墓石



### 天田石材店

本社 〒536-0001  
本店 大阪市城東区古市1丁目23番20号  
〒530-0042  
大阪市北区天満橋1丁目2番18  
TEL 06-6930-5075  
0120-30-5075  
FAX 06-6930-5078

# 六字城

「和讃のおはなし」

真宗大谷派 鍵役  
宣心院 大谷 暢文

『現世利益和讃(四)』

南無阿弥陀佛をとなふれば

この世の利益きわもなし

流転輪廻のつみきえて

定業中天のぞこりぬ

(南無阿弥陀佛とお念仏を称えるならば、この世における利益は無量のものとなる。過去・現在・未来の罪が消えて、あらゆる生における悪の連鎖が除かれるのである。)

発行 真宗大谷派(東本願寺)天満別院

大阪市北区東天満一丁目二六

電話 六三五一―三五三五  
代表者 輪番 長谷山法雄

ただけるのです。その御利益によって流転輪廻の罪が消えたとあります。流転輪廻とは、生死をとめどなく繰り返すことです。生死が繰り返されるといふことは、苦しみや悲しみから逃れられない状況です。その流転輪廻の中の罪とは、ただ単に罪を犯すというのではなく、迷いのままで未来に流転していくこと自体が大きな罪の一つになりますし、もう一つ、過去の迷いのまま現在に引きずつていくという罪です。

このような迷いは、ご本願を信じ、喜んで南無阿弥陀佛と称えることによつてすべてが断ち切られるのですが、それがどのような形で遂げられるのかというと、いのちが尽きたならば必ずお浄土に往生することによつて遂げられるのです。

御和讃の「定業中天」とは、南伝仏教でいうところの説では、報いを受ける時期が定まつている業と定まつていない業のことです。ここでは「あらゆる生における悪の連鎖」としました。お浄土に往生することは、まさにあらゆる生における悪の連鎖を断ち切ることに他ならないのです。

### ◆ 暁天講座のご案内

左記の日程で暁天講座を開講致します。

記

日時 八月四日(金)、五日(土)

午前六時三十分より

講師

大阪教区第十五組

大長寺住職

沼田 和隆 師

講題 『本来の私』

会場は両日ともに別院一階講堂になります。聴講は無料です。尚、講座終了後には軽食を用意しております。

( )提供 太田石材店様

### ◆ 孟蘭盆会法要のご案内

左記の通り孟蘭盆会法要を勤修致します。

日時 八月十三日(日)

午後一時半より

講師

大阪教区第十三組

道徳寺前住職

入江 健明 師

### ◆ 天満別院ホームページ開設のお知らせ

天満別院では、四月一日より教化委員会を発足致しました。そこで天満別院 教化委員会 広報部の方々のご協力により、天満別院ホームページを開設致しました。

ホームページでは別院の行事、お知らせ、日々の出来事などをお伝えしてまいります。是非ご覧くださいますようお願い致します。アドレスは左記の通りです。

記

天満別院ホームページ

<http://www.tenma-betsuin.jp>

### ◆ 別院墓所の墓前申経

今年度の別院墓所の墓前申経の日程は左記の二日間となります。尚、今までは本堂入り口にて申経の受付をしておりましたが、**今年度より墓所での受付**とさせていただきます。午前九時から四時三十分まで受付をいたしております。

八月十二日(土)  
十三日(日)

※お盆期間にお墓へ  
お参りされる皆様へ

○ お供え物はお供えしていただいた当日にお持ち帰りいただきますようお願いいたします。

○ 墓所周辺の道路は駐車禁止となっております。特にお盆期間は警察による取り締まりがございます。別院講堂前駐車場が満車の場合は南側別院境内にご駐車いただきますようお願いいたします。

### ◆ 報恩講習礼のご案内

左記の日程で天満別院教化委員会 法要部会主催による報恩講習礼を開催致します。内容は出退作法、巡讃(讃頭)等について合計三回の習礼を行います。是非ご参加くださいようご案内致します。

記

日時

八月二十一日(月)

内陣 出仕・退出の習礼及び心得

午後六時より午後八時まで

九月 五日(火)

巡讃(讃頭)の習礼及び心得

午後四時より午後六時まで

九月二十六日(火)

出退・巡讃の習礼及び確認

午後四時より午後六時まで

※八月二十一日(月)、九月二十六日(火)の習礼は裳付・五条をご持参ください。

### 輪番雑感

お盆の由来は、中国の西晋(せいしん)時代に活躍した竺法護(じくほうご)が翻訳した「仏説孟蘭盆経」、異訳とされる「仏説報恩奉盆経」などが典拠になっている。もともと影響を与えたものが、よく知られている「仏説孟蘭盆経」でした。お盆の「盆」という言葉もこの「孟蘭盆」を簡略にして表現したものです。孟蘭盆とは、「仏説孟蘭盆経」の中にあるウランバナという言葉を書き換えたものです。その意味は「逆さまにつるされるような苦しみ」で、「倒懸」とおっしゃえています。孟蘭盆経に釈尊のお弟子目連尊者が、百味の飯食をもって四方の僧たちに供養し、その功德によって餓鬼道におちて倒懸のくるしみをうけている母を救うたという経説が行事となったものである。

【お盆のはなし】

私たちは自分の思いがかなえば素晴らしい人生になると思っているようです。勿論、思いの内容によりますが、自分の考えを強く主張して人に従おうとしない心、ひとりよがり、「我」。自分一人の利益ばかりを求める心、欲望、

「我欲」。自分中心の思いがかなうことが素晴らしい人生の内容とすればこれはたいへんな誤りです。日々報じられるニュース等を見ても多くがこの、「我」「我欲」の生き方が人間性を見失った生き方になっているようです。このことが倒懸して苦しんでいるありさまなのです。

人生が思いどおりに行くと、もともとと貪り、その貪りの心に苦しめられ、悩まされているのです。このもともとと煩悩が貪欲であり、餓鬼道の歩みです。私たちは「我」「我欲」が通れば「貪り」になり、「我」「我欲」が通らず自分に都合が悪くなると腹をたて怒るか、愚痴に沈む。煩惱具足の身です。

お盆では、いろいろと仏事が行なわれますが、そのことが仏と出会い、法を聞き「我」「我欲」によってしか生きられない自身に対し厳しい見方ができる眼をいただき、いつも倒懸して自分の思いが自分を苦しめている自身を見つめなおすところに、その苦しみを離れるための供養として孟蘭盆会があるのではないのでしょうか。法の輪を一人でも多くの人にひろげていくご縁にしたいものです。